

2024年6月24日

白井市教育委員会
白井市立白井第二小学校
三和商事株式会社
東日本電信電話株式会社 千葉事業部

白井第二小学校で AR 技術などを用いて災害を疑似体験する 「体験型防災授業」を実施しました

白井市教育委員会（教育長：井上 功）、白井市立白井第二小学校（学校長：鈴木 修、以下「白井第二小学校」）、三和商事株式会社（代表取締役：小林 正樹、以下「三和商事」）および東日本電信電話株式会社 千葉事業部（千葉事業部長：井上 暁彦、以下「NTT 東日本」）は、2024年6月20日（木）に同校の6年生に対して「体験型防災授業」（以下「本授業」）を実施しました。

1. 背景・目的

白井市教育委員会および白井第二小学校は、市の地域防災計画に基づき、市民一人ひとりが「自らの命は自ら守る」とする自助と、「自分たちの地域は地域みんなで守る」とする共助の重要性を認識することや、家庭・地域などと連携して幼少期から災害教訓の伝承を行うことで、防災教育の充実につなげています。

こうした取り組みを支援するために、三和商事とNTT 東日本では、両社がこれまで培ってきた防災・減災への取り組みやノウハウをベースに、ICT（情報通信技術）やDX（デジタル・トランスフォーメーション）を活用して災害を疑似体験する授業を行いました。

具体的には、AR技術[※]などを用いた仮想映像による浸水災害や「GENSAI（減災）迷路」を活用した火災による煙幕下での避難をリアルに疑似体験することで、児童が楽しく興味を持ちながら正しい防災・減災知識を身につけられるカリキュラムを展開しました。

また、当日は白井市内で水害を体験した地域住民による被災体験の講話も取り入れ、「自分の命は自分で守る」といった自助意識の強化及び将来的には共助の中核となる人材の育成を図りました。

※「拡張現実(Augmented Reality)」の略で現実世界にデジタル情報を付加する技術。

現実世界での体験にデジタル情報を重ね合わせ、便利で効率的な社会の実現など新たな価値を生み出す先端技術のひとつです。

2. 「防災授業」の概要

(1) 実施日時・場所

2024年6月20日（木）10:30～12:00
白井第二小学校 体育館（所在地：白井市中 181-2）

(2) 対象

白井第二小学校 6年生（20名）

(3) 講師

三和商事および NTT 東日本の社員（14 名）

(4) 当日の様様

①【講義】概要説明、災害講義

- ・白井市内で今後想定される災害の特徴と基礎知識（種類やメカニズム・危険性）
- ・地域住民による白井市内での被災体験談
- ・被災体験を元に作成したクイズによる災害の危険性

②【体験】疑似災害体験

各種ツールによる疑似災害体験を通じて危険性を学びました

- ・AR 技術などにより体育館が浸水する仮想映像を用いて、浸水時の移動を疑似体験しました
- ・「GENSAI（減災）迷路」を活用して火災による煙幕下を想定した避難を疑似体験しました

③【講義】日頃から習得し実践することが必要な防災対策

災害発生時の情報収集方法およびローリングストック

(当日の様子)



(災害講義)

被災体験談聴講、災害関連知識を習得



(疑似体験)

AR ゴーグルを活用した浸水時の移動



(疑似体験)

「GENSAI（減災）迷路」を活用した
火災による煙幕下を想定した避難